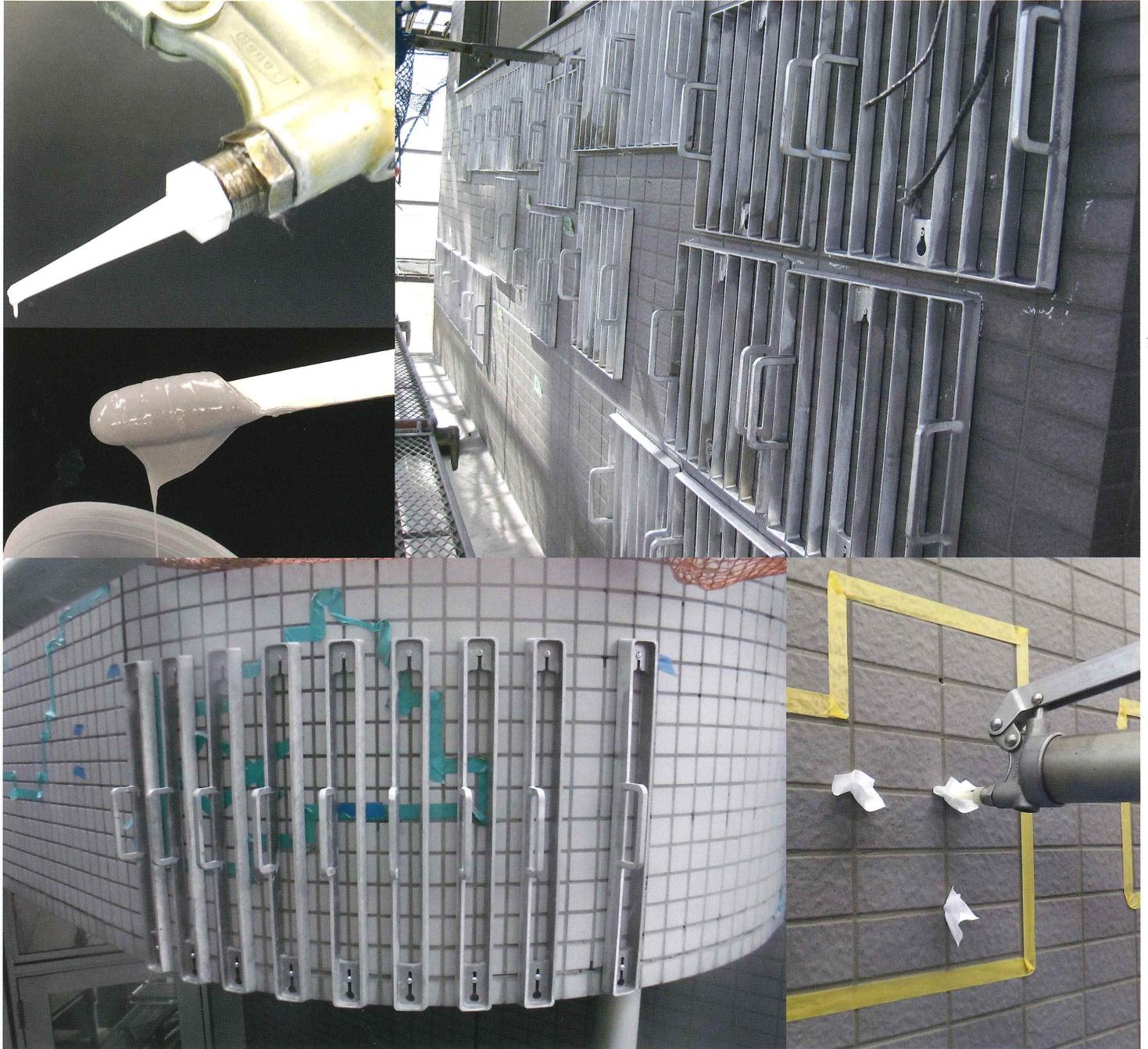


外壁仕上げ材の浮きに注入できる弾性接着剤

アサボン弾性G



- ・ タイル張用弾性接着剤のメリットを生かしたまま注入を可能にしました。
- ・ 2つのJIS規格値をクリアしています。

注入用エポキシ樹脂(JIS A 6024) 外装タイル張用弾性接着剤(JIS A 5557)

- ・ 作業中、皮膚かぶれを起こしにくい。

かぶれの原因物質含有量を大幅に削減しました。

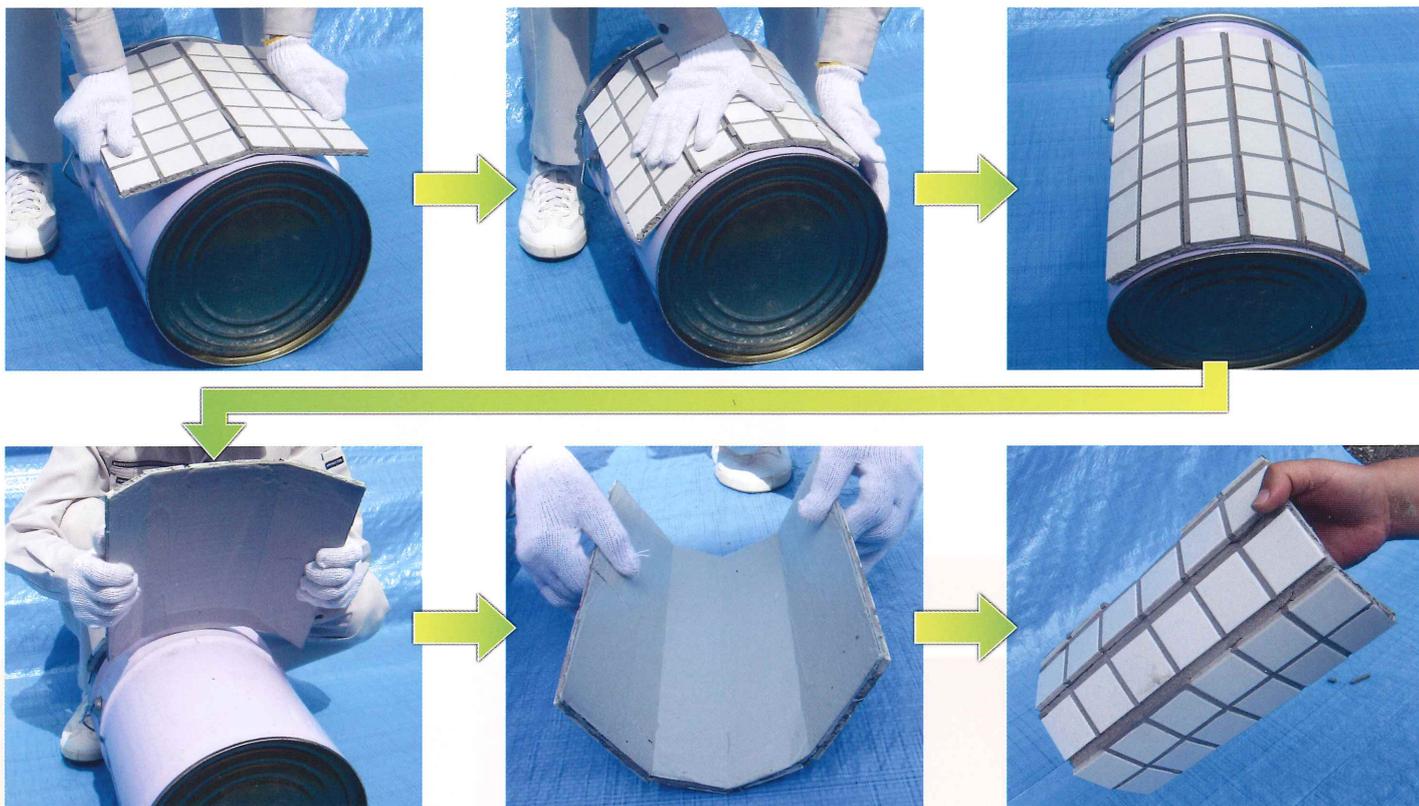


ASAHI BOND

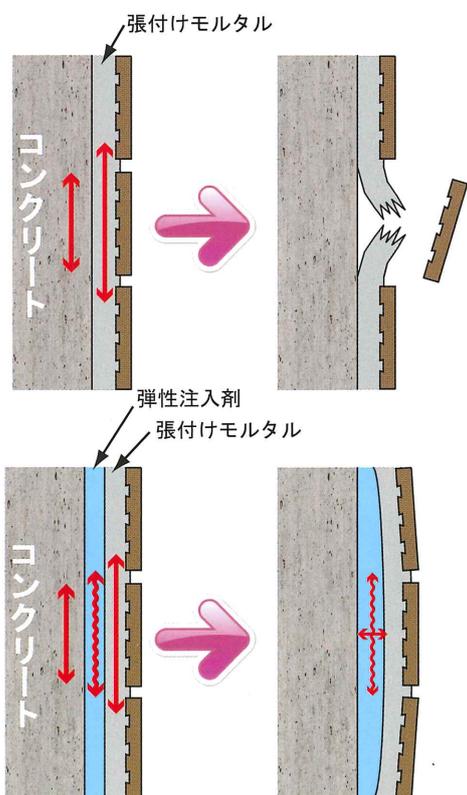
アサボン弾性Gの性状(柔軟性)

実際の壁面に見立てた供試体裏面に弾性Gを塗布。丸缶の上に乗せて折り曲げてみました。

※供試体=50mm角タイル・張付用モルタル(2.5mm厚)・弾性G(0.6mm厚)・タイル目地モルタル処理



タイル張付け用モルタルや目地材は破壊されましたが、裏側の弾性G塗布面に大きな損傷は見られず、円弧に対して柔軟に追従しています。この実験はほんの一例ですが、弾性Gは建築物の壁面の動きに柔軟に追従することで、タイルの浮き・ヒビ割れ・剥落を防止します。



※この断面図は弾性Gの特性を表すイメージ図です。

表層タイルの浮き・ヒビ割れ・剥落の原因

温度・湿度等の変化により躯体や張付けモルタルは膨張と収縮を繰り返します。しかし躯体と張付けモルタルの膨張率収縮率は同じではありません。その歪差によるストレスがタイルの浮き・はらみの原因とされています。

弾性Gによる注入のメリット

弾性Gが躯体・張付けモルタルの歪差に追従することにより、浮き・はらみによるタイルの剥落を防止します。また、温度による物性変化が少ないので、真夏や真冬の施工時でも安定した性能を発揮します。

性 状

項目	性 状	
	主 剤	硬化剤
種 類	変性シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤	
外 観	白色ペースト	黒色液体
混合比(質量比)	主剤：硬化剤 = 10：1	
密度(g/cm ³)	1.27	1.01
粘度(Pa·s)	105	1
T.I値	6.0	-
混合後の粘度(Pa·s)	75	
混合後のT.I値	6.0	
指触乾燥時間(23℃)	360分	
初期との増粘率(60分)	1.48倍	

可使時間

気温	促進剤	遅延剤	可使時間
5℃	なし		120分
	0.5%		60分
	1.0%		60分
23℃	なし		120分
	0.5%		60分
40℃		なし	60分
		0.5%	60分
		1.0%	120分

初期との増粘率が1.5倍以下の値である状態を可使時間範囲内とする。

性 能

JIS A 5557 (外装タイル張り用有機系接着剤)による品質試験

項目			アサボン弾性G試験結果	JIS規格値	
接着強さ	標準養生		0.80N/mm ²	0.60N/mm ² 以上	
			凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が75%以上	
	低温硬化養生		0.57N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
	アルカリ温水浸せき処理		0.59N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率80%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
皮膜物性	熱劣化処理		1.35N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
	凍結融解処理		0.90N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率75%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
	引張性能	引張強さ		1.23N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上
		破壊時の伸び		250%	35%以上
温度依存性	試験時温度 -20℃	引張強さ	1.92N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上	
		破壊時の伸び	300%	35%以上	
	試験時温度 80℃	引張強さ	0.80N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上	
		破壊時の伸び	200%	35%以上	
劣化処理後の引張性能	アルカリ温水 浸せき処理	引張強さ	1.20N/mm ²	0.40 N/mm ² 以上	
		破壊時の伸び	160%	25%以上	
	熱劣化処理	引張強さ	1.69N/mm ²	0.40 N/mm ² 以上	
		破壊時の伸び	200%	25%以上	

※1 凝集破壊率は破壊面全体の面積に対する凝集破壊（タイル、下地材を含む）の割合とする。

JIS A 6024 (注入エポキシ樹脂 軟質形)による品質試験

項目		アサボン弾性G試験結果	JIS規格値	
接着強さ A 法	標準条件 B	3.5MPa	3.0MPa以上	
	低温条件 B	2.8MPa	1.5MPa以上	
	湿潤条件	3.4MPa	1.5MPa以上	
	乾湿繰返し条件	2.9MPa	1.5MPa以上	
引張特性 B 法	標準条件 B	引張強さ	1.2MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	250%	50%以上
	低温条件 B	引張強さ	1.7MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	280%	50%以上
	加熱劣化条件	引張強さ	1.7MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	200%	50%以上
硬化収縮率		2%	3%以下	
加熱減量 A 法	質量変化率	3%	5%以下	
	体積変化率	3%	5%以下	

使用上の注意

- ◇補強ピンはメカニカルアンカーを使用してください。
- ◇材料は、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ◇一度に混練りする量は、可使時間内に使い切れる量にしてください。
- ◇器具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで清拭してください。
- ◇低温（5℃未満）時や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意ください。
- ◇皮膚に直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮膚障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用ください。
 - ・コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用ください。
 - ・施工中は必ず保護手袋、保護メガネ、保護マスク等保護具を着用して下さい。
 - ・皮膚に直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落とし、異常を感じたら医師の診察を受けてください。
 - ・眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- ◇使用にあたっては安全データシート（SDS）をお読みください。

梱包容量

3.3kgセット（主剤 3kg 硬化剤 0.3kg）1箱2セット入り



ASAHI BOND

アサヒボンド工業株式会社

本社 / 〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7 TEL(03)3972-4929 FAX(03)3972-4856
 新築工場 / 〒352-0012 埼玉県新座市畑中2丁目16番43号 TEL(048)482-6611 FAX(048)482-6610